

佐藤隆子さん 福島県福島市御山中屋敷

人生観を根底から変えた創生水

そのときの出逢いが

人生を根底から変えることがある

よき出逢いを

みつを

栃木県足利市の書家であり、詩人でもある相田みつを先生の作品です。

私は福島県福島市で、飲食業を中心とした事業に参画しています。八年前当社は一〇周年を迎え、記念事業として相田先生をお招きし、記念碑の建立と講演会を開催しました。この相田先生との出逢いで、私の人生が大きく揺さぶられたことは事実です。よき出逢いがよき出逢いにつながり、いまではおかげさまで無限の広がりを感じています。

三年前、高木善之氏の地球環境セミナー「美しい地球を子どもたちに」を開催したときが創生水との出逢いとなりました。開催前に創生ワールドから新聞がたくさん送られてきましたので、講演会に参加した一〇〇〇名くらいの方々に配布させていただきまし

た。私は以前より水に関しては深く興味を持っていましたので、創生水の持つ力に驚き、こんな水が本当にあつたら「すごい」とピンとききました。正直いって半信半疑ではありましたが、とにかく創生水を送っていただきました。送られてきた創生水は期待以上の水でした。飲んでみて、かぎりなくやわらかく、細かく、そして甘いことがうれしいシヨックでした。それが創生水との出逢いとなり、その後すぐに大田さん、深井社長さん、佐浦さん（かつて創生水の水汲み仲間でした）、早津さんなど、本当によき人々との出逢いにつながりました。半年後、ようやく器械を購入することができました。自分の家庭の水を最高にしたいという思いはもちろんありましたが、それ以上にこんな素晴らしい水をたくさんの人に知ってほしい、飲んでほしい、体験してほしいという思いも強くありました。環境セミナーなどで勉強してきたことが、この水によって一つ一つ解決できることに、大きな喜びを感じました。地球破壊の元凶となっている洗剤や農薬などを使わないで生活できることは、地球上での自分の立場が逆転したこと……つまり地球の応援団の一員になれたことだと思います。

いま毎日たくさんの方々が水を汲みに来ています。仕事の関係でほとんど汲みに来る方々と会うことはできないのですが、喜びの声は聞いています。おいしくてやめられない、病気の家族のために、自動車に活用して燃費がよくなった、掃除に使ってピカピカになった、お風呂に入れて温泉気分、などたくさんうれしいメッセージをいただいで

おります。

当社では、各レストランのコーヒーは創生水で入れていますが、酸化しにくく、いつまでもおいしさが続き、お客様も会社も喜んでおります。特にカビの生えやすい餅製品について、いろいろな水で実験した結果、創生水でついた餅は、比較にならないほどよい結果が出ました。創生水の活用方法は無限にありますので、今後いろいろな面で役立てていきたいと思っています。

創生水の器械設置者である私たちが、井戸端会議の場となり、種々の情報を交換できるような「創生水ネットワーク」を今後ますます広げていく使命があるのではないかと考えています。

うばい合えば足らぬ

わけ合えばあまる

うばい合えば憎しみ

わけ合えば安らぎ

みつを

田中茂樹さん（田中かまぼこ店）鹿児島県始良郡加治木町港町

創生水を料理に使う

「いわしを料理するのに匂いがしない。そしてボールがギトギトしない」

創生水を使用して料理していた妻の声がかきこえるようになった。創生水がついてから本当に楽な生活ができるようになりました。洗濯も洗って絞って終わり、食器洗いもタオルを持って水で洗うだけ。料理の材料もすべて創生水に浸してから料理するとおいしくなるし、おでんは前の日から煮込んだみたいによく味が染みて柔らかくおいしくできます。最初、自宅のほうに創生水をつけたのですがどうしてもこの創生水を仕事場で使いたくなりました。

私の仕事は蒲鉾屋でかまぼこさつま揚げを製造販売しています。創生水を使用してさつま揚げをつくるようになってから、一段と味がまろやかになり美味しくなったとお客様が言うてくださるようになりました。仕事場も洗剤を使用しないで洗い物ができるので安心して楽になりました。材料もできるだけ健康に気をつけて、塩は沖縄の海の塩、砂糖は命の糖と言われるトレハロース、もちろん合成保存料は一切使用しないで安心して食べられる製品をつくるようにしています。

同じことをしても地球を汚していく人と違い、地球をきれいにしていることが創生水を使うことで実感でき、幸せを感じます。ひとりでも多くの人が創生水を体験して使ってくれることを願っています。

山内隆夫さん 広島県竹原市東野町

川底に発見した、環境浄化の光

平成一一年八月から創生ワールド西日本で創生水をいただいて帰り、家族全員（四人）が飲んだり、いろいろと使わせてもらっています。八月から毎日フロに二〜三本入れて入浴しています。

家の庭にある二坪くらいの畝に野菜を植え、創生水を噴霧器でかけていました。畝の端に約二メートル幅の川が流れており、その川岸に柿の木があります。最近四〜五年は、柿はなるけれども、葉を毛虫が全部食べてしまうので柿の実がまともに成長せず、食べられるようにはなりませんでした。ところがその年はどういうわけか、葉もいっぱいあり、柿の実も木が折れるほど成長したのです（一二月ごろ）。不思議に思い、ふと気がついたのが畝に創生水を霧吹きでまいたのが風にのり、柿の木に散ったようで、毎年毛虫

だらけになるのに一匹もいなくなっていたのです（初めはいたが逃げたようです）。そのため葉が繁り、柿の実が大きく実ったことに気がつき、おどろきました。

そして川岸の柿をとって、川に柿が落ちたところ、川ガニの大きなのが五〇〜六〇匹も出て集まってきたのでビックリして、川をよく見るとフナの子の五〜二〇センチくらいの大きさが一〇〇匹くらい一カ所に寄って動けないほど集まっていました。

川のなかをよく見ると、藻かゴミのようなものが川底に拡がって動いているのよく見ると、メダカくらいのハヤの小魚がいて川底がよく見えないほどたくさん泳いでいました。

なぜかと考えました。現在のところに住んで四〇年近くなりますが、こんなに多くの魚を見たことがないし、また、他のところでも見たことがあります。よく考えて思いついたのが、毎日フコに創生水を二〜三本入れて入浴をするようになって五カ月くらいになります。その使ったフコの水を流すのがその川なので、創生水のまざった水に、カニや魚が集まったのだと気がつきました。

近所の人や創生水を教えた人にみせると、皆さん全員ビックリしています。私は、毎日一回はその魚を見ています。創生水に集まって来る魚を見ると非常に元気が出るし、嬉しくなるこのくらいです。

これほどわずかな創生水に魚が集まって来るのを見ると、現在いかに川が、水が汚染

されているのがよくわかります。

森川純治さん（合気道七段・健康アドバイザー）

合気道、整体そして創生水で健康生活を提案

「地球環境通信」という深井さんのところで発行している新聞を見て創生水のことを知りました。特に強く印象に残っているのは、福井での重油流出事故における創生水の活躍です。私も、この水を取り寄せて早速実験してみました。何とこの水は油と溶け合うではありませんか。ともかく大変な驚きでした。

それ以来、私はこの水に強い関心を持つようになりました。深井さんが研究したデータ集をすみからすみまで読みました。講演会にも出席して、わからないところほとんど質問をしました。質問をして自分が納得すればするほど、この水の偉大さを実感できるようにになりました。

もともと私は水に興味がありましたから、この分子の小さい還元している創生水のよさは、すぐに理解することができました。

私はいま、化粧品会社を早期退職して、地域の人たちにボランティアで合気道、整体、

気功などを教えています。特に気功では、呼吸法が大切になりますが、この呼吸と水の関係はより密接なのです。深井さんもおっしゃっていますが、空気と一緒に創生水を飲むと体内はより還元され、健康状態になるのです。

私は、合気道、生体、気功そして創生水を通じて、よりトータルな健康をアドバイスしていきたいと考えています。

私は創生水で事業を拡大しようとは思っていません。創生水を地球環境のために役立てていきたい、とだけ考えています。私の家族と私を支えてくれる仲間たちが食べていくに困らないだけの収入があればそれでいいと思っています。

かつて私は、原発反対運動をしていたことがあります。原発反対と叫びながら、家に帰れば冷蔵庫からビールを取り出し、テレビをつけて電気を使っていたのです。電気は原子力発電で賄われる割合が高くなっていることをすっかり忘れてしまっていたのです。原子力発電に反対するならば、その根本にある自分の生活を基点にものを考えなくてはいけない、とそのとき気づいたのです。ただ、反対しているだけでは問題は何も解決しません。

創生水は「地球環境を守るための水である」という強い信念のもとに私はこれまで、地道な活動を続けてきました。予算がたっぷりあるわけではありませんから、広告、宣伝費などはありません。そこで少しでも多くの方に私の考えをわかってもらうために「講演」を全国津々浦々で行なってきました。私はこれからもどこへでも出かけていきます。私の話を聞いてみたい、ということであればどこ

にでもすつとんでいきます。

水を売るといふことであれば、広告をどんどん展開すればそれなりの効果はあるでしょう。しかし、私は水を販売しようとは思っていません。創生水で儲けようとは思っていません。創生水によって「地球環境」を守ろうとしているのです。そこでまず、創生水をできるだけ多くの人に知っていただくなくてはなりません。そのため私は、創生水を無料でお分けしています。何はともあれ創生水のよさを体験していただきたいのです。本物であるかどうかをあなたご自身で確かめていただきたいのです。そのためには何年かかってもいいと思います。何年でも無料でさしあげてまいります。

そして、創生水を理解していただいた方だけに、創生水の生成装置を取りつけます。その際にあるお約束をしていただきます。それは洗剤類を一切使わないという『環境汚染防止義務』を履行していただくことです。ご家族全員の署名をいただきます。これは建前ではありません。この約束を守っていただくために、私たちは機械の設置と同時に、それまで使っていた洗剤、シャンプー類、歯磨き粉、漂白剤、消臭剤、殺虫剤、農薬などをすべて回収させていただきます。これに同意されない場合は、創生水生成装置の設置をお断りしています。

なぜ、そこまでやるのか。洗剤のある暮らしから抜け出していただきたいから

です。ダイオキシンを発生させている原因を家のなかから排除して、安全で快適な生活を送っていただきたいからです。そして、それが最終的に地球環境を守ることにつながるからです。

私の小さなこだわりは、事業を広げることにはつながらないでしょうが、地球環境を守ることには役立つのではないかと信じているのです。私の信念に共鳴してくださる方がひとりでも多くなることを願ってやみません。

創生水は生活を根本から洗う、自然の水なのです。

最後に、創生水開発に当たり、私の夢を信じて、何の利徳もないのに貧乏のどん底にいるときからご支援してくださった大北商事の北沢社長様、そして多くの友人の皆様方に感謝申し上げます。

また、本書の出版にご協力くださった皆様や、今日まで創生水を愛し、自然を愛し、地球を愛し、そして私たちを応援してくださったすべての皆様方に、この場を借りて、心よりお礼申し上げます。

この書が、平和の使者とならんことを願って――

二〇〇一年二月

感謝合掌

深井 利春